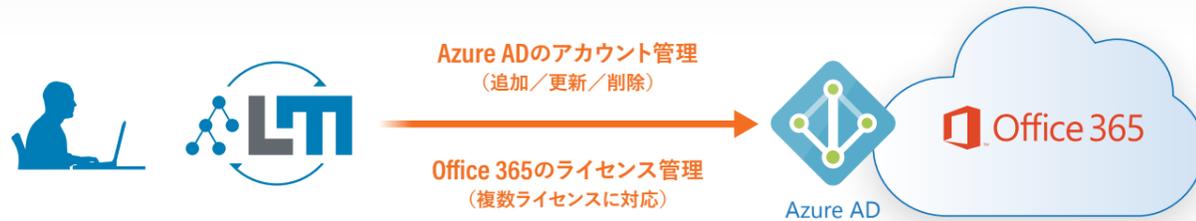


NEW!

LDAP→Azure AD

LDAP Managerの新しいディレクトリ連携プラグイン「LDAP→Azure AD」は、メタディレクトリサーバの情報を元に、Azure ADへアカウント情報を連携(追加/更新/削除)することができるプラグインです。
 さらに、Office 365のユーザーごとに、ライセンスの付与/剥奪をすることができるため、Office 365のライセンス管理に活用することができます。



動作確認環境

対応LDAPサーバ	OpenLDAP 2.4 Oracle Directory Server 11g OpenDJ 3.5 / 3.0.0 / 2.6.0 Red Hat Directory 10
LDAP Manager®	Microsoft Windows Server 2016 Microsoft Windows Server 2012 R2 Microsoft Windows Server 2012 Microsoft Windows Server 2008 R2
Webアプリケーションサーバ	Tomcat 8.0 + Oracle JRE 8 Tomcat 8.5 + Oracle JRE 8 Tomcat 9.0 + Oracle JRE 8
外部データベースサーバ	PostgreSQL 10 / 9.6 / 9.5 / 9.4 / 9.3 / 9.2 / 8.4
パスワード変更Web動作確認ブラウザ	Microsoft Edge Microsoft Internet Explorer 11 / 10 Mozilla FireFox Apple Safari Google Chrome
Password Assistant対応クライアント	Windows 10 (64bit) *SSOは、クラシック環境のみ対応しています。 Windows 8 / 8.1 (32bit / 64bit) *SSOは、クラシック環境のみ対応しています。 Windows 7 (32bit/64bit) SP1

* LDAP Manager 6.9の最新の動作確認環境や連携先システムのバージョン、ならびにLDAP Manager旧バージョンとの互換情報については弊社Webサイトをご確認ください。
 システム要件 : <https://www.exgen.co.jp/lm/specs.html> サポートリスト : https://www.exgen.co.jp/asset/download/LM_SupportList.pdf

*LDAP Managerはエクスジェン・ネットワークス株式会社の登録商標です。*RSAは、RSA Security Inc.の登録商標です。*Oracle,JDK, JREはOracle Corporationおよびその関連会社、または各社が所有する商標または登録商標です。*IBM Notesは、IBM Corporationの登録商標です。*Active Directory, Office 365, Azure AD, Microsoft, Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。*desknet'sは株式会社ネオジャパンの登録商標です。*サイボウズ、cybozu、ガルーン、Garoonはサイボウズ株式会社の登録商標です。*その他の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

記載内容は予告なしに変更される場合がございます。(2018年8月)



USE INNOVATIVE TECHNOLOGY.

エクスジェン・ネットワークス株式会社

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-11 千代田小川町クロス11F
 TEL 03-3518-8055 FAX 03-3518-8056

E-mail idminfo@exgen.co.jp <https://www.exgen.co.jp/>

●お問い合わせ先

LDAP Manager 6.9

Identity Management Solutions

組織のユーザ情報をLDAPサーバで統合管理する、アイデンティティ・マネジメント・ソリューション。



エクスジェン・ネットワークス株式会社

日本の ID 統合管理、お手伝いいたします。

LDAP Manager 6.9

Identity Management Solutions

プラグインの
組合せによる
フレキシブルな
システム構成

パラメータ
記述による
開発作業不要の
動作設定

更新履歴記録や
ワークフロー等の
オプションにより
内部統制にも対応

純国産
ソフトウェア

リリース以来
600本以上の
豊富な導入実績

圧倒的な
コストパフォーマンス

ユーザ情報統合管理のメリット

ITシステムにおけるID/パスワード認証は必須の機能となっており、一人が複数のIDを持つことは珍しくなくなりました。各システムのID/パスワードを共通化し、シングルID/パスワードによる認証体系を実現したとしても、ユーザ情報の管理に関しては、各システムにより個別に管理されていることが多く、結果的にパスワード漏れや退職IDの削除忘れなどが不正アクセスの温床となり、セキュリティリスクが放置されがちです。ユーザ情報を一元管理することにより、システム管理者、エンドユーザ双方にとって、アカウントのメンテナンスポイントを集約できることに加え、クラウドを含めた全システムに渡ってユーザ情報の整合性が確保されます。これにより信頼性の高いアカウント環境の構築が可能になります。

LDAP Managerは、LDAPサーバを一元管理用のメタディレクトリサーバとして配置し、LDAPの特長である高速な認証検索機能と柔軟な属性設計に、LDAP Managerの豊富なプラグイン群とメンテナンス用プログラムを組み合わせることで、ユーザおよびグループ情報の統合管理システムを実現する製品です。

年一度のバージョンアップによる機能強化を重ねてきたLDAP Managerは、2017年3月までの累積出荷本数が600本を超え、ID管理統合製品の国内出荷本数シェアにおいて、第一位^(注1)という高いご評価をいただきました。今後も、これまでの実績で培った経験と知識をベースに、お客様にとって本当に必要な機能を搭載した製品をご提供し続け、ID統合管理システムの担い手として全力を尽くして参りたいと考えています。

(注1) 富士キメラ総研「2017ネットワークセキュリティビジネス調査総覧」<統合ID管理ツール>・2016年度・数量>

機能概要

LDAP管理機能

組織におけるユーザ情報は、日々運用を重ねる中で管理するデータ項目に変更を加えなければならない状況が発生します。LDAPサーバはその特長である柔軟な属性拡張機能によりシステム稼働後のスキーマ変更も容易ですが、その特長はLDAPを管理するツールでも同様であるべきです。LDAP Managerは、GUIからの簡単な設定で連携動作を変更することが可能になっており、LDAPサーバと同様の柔軟性を備えたID統合管理ツールです。

組織固有のIDライフサイクルや管理運用イベントに対しては、一括処理と個別処理の二つの処理方式から、お客様の運用方針に合わせて適切な処理方式を選択・組み合わせます。このうち一括処理は、年度末の新規登録や異動のような多量のデータを一括処理する場合に効果的な処理方式です。CSV以外のデータソースでは連携元と連携先の対象データを比較し差分を自動判別。これを定期的に行うことでユーザ情報の整合性を保つことも可能です。

ディレクトリ情報連携

LDAPサーバに格納されたユーザ・グループ情報を、Active DirectoryやAzure AD、業務システム用 RDBのユーザテーブルに対して連携、反映します。システム管理者は、LDAP Managerを介してユーザ情報をメンテナンスするだけで、ユーザ情報の一元管理が可能になります。システム間で異なるデータ項目は、LDAP Managerの強力なマッピング関数により項目別に加工や分岐など連携設定も可能。多彩な連携要求に柔軟に対応します。

またパスワードの連携では、ハッシュ化して保存されるために生値が取得できないLDAP標準パスワード属性ではなく、LDAP Managerが可逆化暗号方式を用いて独自に暗号保存した値を使用して連携することにより、他システムへの反映と同時にセキュリティの確保も実現しています。

エンドユーザ自身による情報管理機能

ID統合環境において、エンドユーザ自身がパスワードなど自分自身の情報をメンテナンスできる機能は必須です。LDAP Managerでは、標準の機能として専用のWebアプリケーションによるユーザ情報メンテナンス画面を、さらにActive Directory連携プラグインを追加していただくと、Windows標準パスワード変更画面からの操作によるパスワード同期機能を、構築されるID統合環境に合わせて選択していただけます。もちろん、どちらも変更されたパスワード等の情報は全ての連携先にリアルタイム反映されます。

また、エンドユーザによるデータ入力に際しては、Active Directoryの複雑性要件や正規表現によるチェック機能により入力ミスを防止し、加えてパスワード有効期限が近づいたユーザに対しての警告メール送信など、多彩な機能でエンドユーザによる安全な情報更新環境をサポートします。

管理者のための管理運用機能

管理者向けには、ユーザ情報の登録やディレクトリ連携の実行といったLDAP Managerへの指示や、実行結果のログが確認できる専用の運用管理画面「管理者ポータル」と、LDAPのユーザ情報やグループ情報を個別メンテナンスするための画面「管理者メンテナンス」という二つの機能をご用意しています。どちらの機能もWebブラウザを利用し、ID統合管理に関わるさまざまな機能を、見やすい画面とわかりやすい操作性を兼ね備えてご提供しています。

これらの管理機能は、それぞれの画面や機能・操作内容を個々の管理者毎に細かく権限設定することが可能なため、大規模な組織でのユーザ情報管理運用などの場面で、業務の細分化と分業化を強力にサポートすることが可能になります。

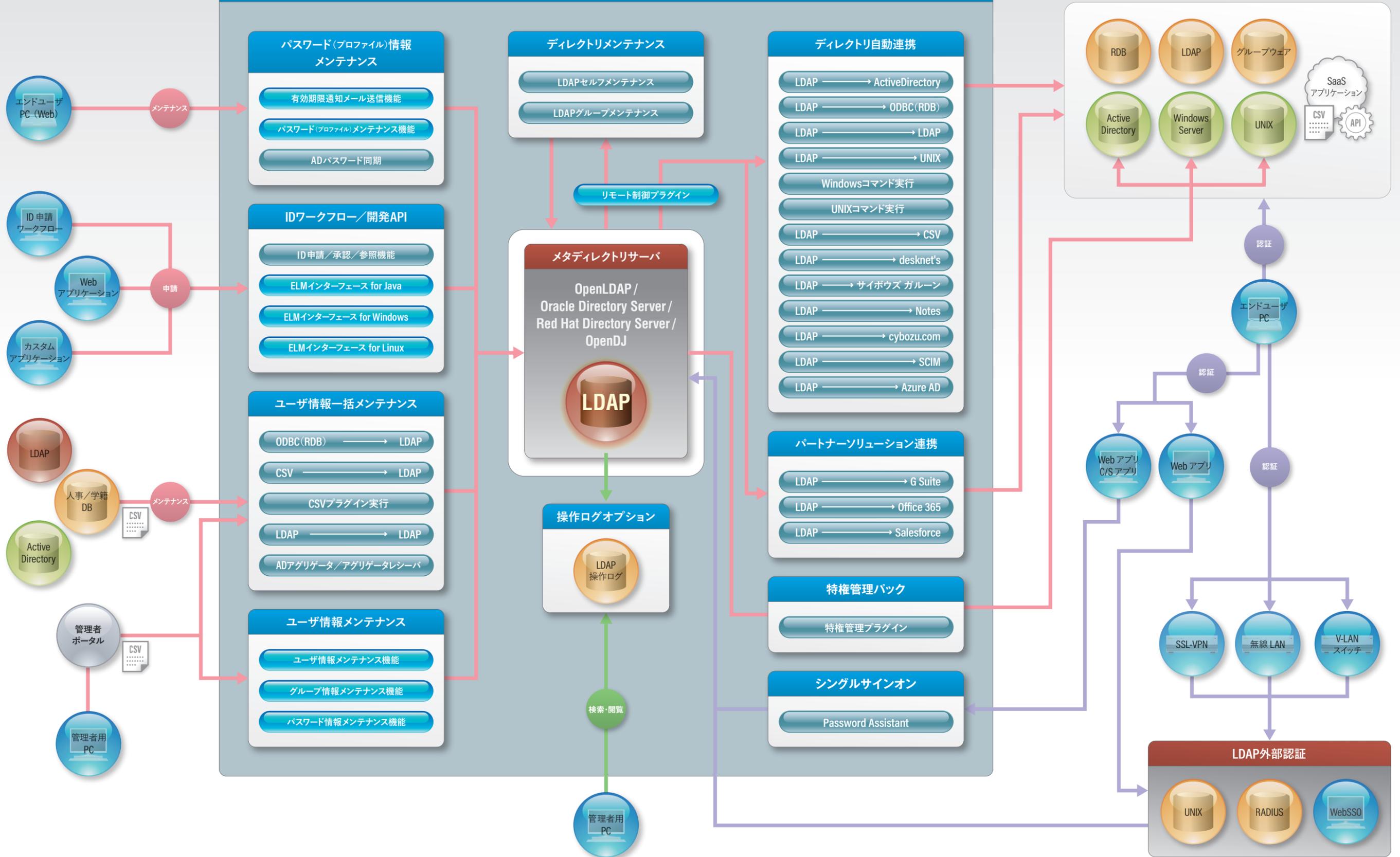
操作ログオプション、IDワークフロー

内部統制の強化が求められている現在、ユーザ情報がいつ誰によってどのように変更されたのか、その証跡を記録することが必要とされています。LDAP Managerの操作ログオプションは、LDAPサーバに対するユーザ情報の追加・更新・削除といった全操作の履歴を、変更された個々のLDAP属性の内容はもとより、それを実行したユーザIDや使われたプラグイン名までを同時に記録し、さらにそれらをWeb画面より簡単に検索表示できるオプションシステムです。

また、IDワークフローは企業のID管理シーンにおいて必要不可欠なID登録等の申請に特化したWebシステムです。多彩な承認ルート設定や承認履歴の記録などワークフローとしての基本機能も充実。さらに、最終承認済みの申請データをメタディレクトリへ反映する機能はWebアプリケーションと分離させ、標準の機能としてご提供しました。これを利用して、お客様既存のワークフローシステムとのシームレスな連携も実現できます。

LDAPサーバを中心とした、ユーザ情報統合・運用管理ツール

LDAP Manager



画面イメージ | LDAP Manager 本体



LDAP Manager コンソール画面

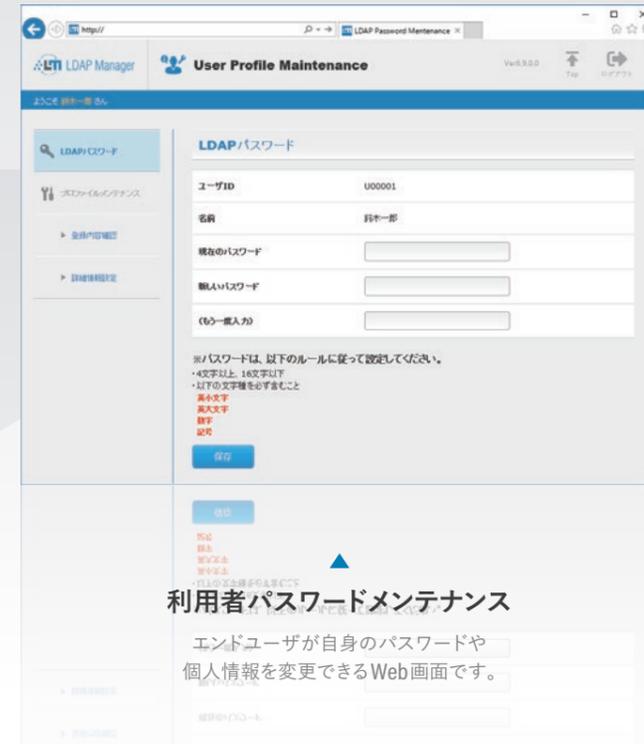
各プラグインやリモート接続の状況をスクロール表示。各種設定変更もここから行います。



プラグイン設定画面例

LDAP Managerの各種プラグインは、それぞれの設定画面から必要情報を設定するだけですぐに利用できます。

利用者向け機能



利用者パスワードメンテナンス

エンドユーザが自身のパスワードや個人情報を変更できるWeb画面です。



IDワークフロー

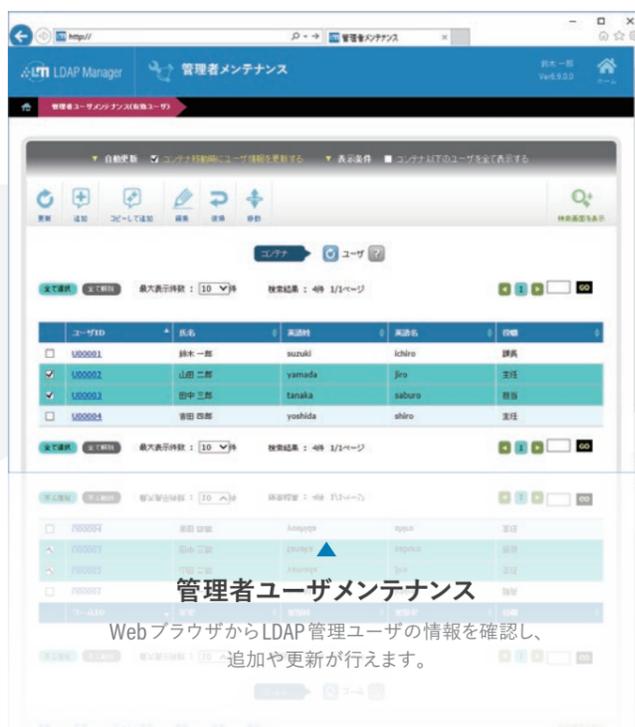
ユーザ情報の追加・更新・削除申請専用のワークフローシステムです。

管理者向け機能



管理者ポータル

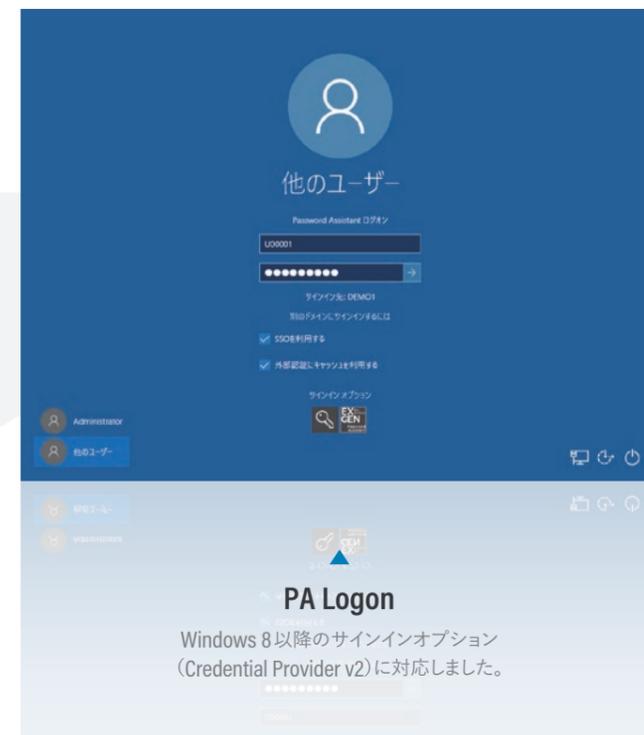
管理者ポータルのメニューから、Webオペレーションログを参照できるようになりました。



管理者ユーザメンテナンス

WebブラウザからLDAP管理ユーザの情報を確認し、追加や更新が行えます。

その他機能例



PA Logon

Windows 8以降のサインインオプション (Credential Provider v2) に対応しました。



操作ログ管理

メタディレクトリの操作履歴を記録し、それを検索することでユーザ情報がいつ誰によって変更されたかを確認することが可能です。